

2021年6月1日

報道関係者各位

株式会社ニュースダイジェスト社
愛知県機械工具商業協同組合

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN（ロボットテクノロジージャパン）

新たな産業用ロボットと自動化システムの専門展を

2022年6月に愛知で

国内最大級の工作機械見本市「メカトロテックジャパン（MECT）2021」を主催するニュースダイジェスト社（名古屋市千種区、代表取締役社長・樋口八郎）と愛知県機械工具商業協同組合（理事長・水谷隆彦）は、産業用ロボットと自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN（ロボットテクノロジージャパン）」を2022年6月、愛知県国際展示場で初開催します。

少子高齢化時代を迎え人手不足に直面する国内の生産現場でどのようにロボットを活用すべきか、匠の技に支えられている現場でどのように品質の安定を図るのか、人工知能（AI）やモノのインターネット（IoT）の技術をどのように活用すべきかなど、工場内の自動化、省人化に関する数々の課題を出展者と来場者が一緒になり、解決する展示会を目指します。

産業用ロボット本体やその周辺機器の展示ゾーンに加え、ロボットの設置やシステム構築を担当する「ロボットシステムインテグレーター」（SIer）専用の展示ゾーンを設けます。「ロボットの使い方」を展示することで、より具体的な導入イメージを描ける場を提供します。

2020年展は182社（888小間）の出展申し込みをいただきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を中止しました。自動化へ高い関心を持つ中部地方の来場者に、改めて新たな自動化技術を訴求する機会を創出します。出展募集は2021年9月1日（水）より開始いたします。

【ニュースダイジェスト社社長、樋口八郎のコメント】

「生産現場、物流、研究所など幅広い場所でロボットのニーズが高まっている。そこで、産業用ロボットと自動化システムに特化した展示会をものづくりの中心地である愛知県で開催し、普及促進の一助としたいと考えた。メカトロテックジャパンで30年以上かけて培った展示会の開催と運営のノウハウを生かし、新しい産業用ロボットの活用法を一緒に考えたい」

【ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022 開催概要】

- 名 称 : ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022
(ロボットテクノロジージャパン 2022、略称 RTJ2022)
- 会 場 : 愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo、アイチスカイエキスポ)
- 開催期間 : 2022年6月30日(木)～7月2日(土)の3日間
- 開催時間 : 10:00～17:00
- 主 催 : 株式会社ニュースダイジェスト社
- 共 催 : 愛知県機械工具商業協同組合
- 目標来場者数 : 3万人
- 対 象 来場者 : 工場内、倉庫、その他産業でロボット導入を考えるユーザー(自動車などの製造業、物流、食品・医療品・化粧品産業など)、システムインテグレーター、商社など
- 目標開催規模 : 200社・800小間
- 対 象 出展者 : ロボットメーカー、周辺機器メーカー、システムインテグレーター、商社、団体・機関・自治体、など
- 対象出展製品 : 搬送、溶接、塗装など各種用途向けロボット、協働ロボット、ロボットハンド、ロボット関連アクセサリ、ロボット要素部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、無人搬送車(AGV)、自動倉庫、その他搬送機器、シミュレーションソフトウェア、アプリケーションソフト、ミドルウェア、画像処理ソフト、ロボット教示システム、CAD/CAMソフト、AI(人工知能)システム、IoT(モノのインターネット)関連技術、システムインテグレーション(SI)サービス、ロボットレンタル・サブスクリプションサービス、メンテナンスサービス、コンサルティング、出版など
※サービスロボットは対象外です。
- 出 展 料 金 : 一般ゾーン 374,000円(1小間=2,970×2,970mm)
SIer ゾーンA 275,000円(1小間=2,970×2,970mm)
SIer ゾーンB 165,000円(1小間=1,980×1,980mm)
- 出展募集期間 : 2021年9月1日(水)～2022年1月31日(月)
※出展申し込み締め切り日であっても、満小間の場合は出展受け付けを終了いたします

【愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo) について】

2019年に開業した愛知県最大規模の国際展示場。総展示面積は6万㎡。中部国際空港の隣接地に立地し、総合保税地域の機能を活用した国内で唯一の常設保税展示場。

【メカトロテックジャパンについて】

1987年にスタートした、工作機械を中心とするFA技術専門展。西暦奇数年の秋に名古屋市のポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)で開催される。奇数年のFA展としては、国内最大規模。通算17回目となった2019年展では、477社・団体(1,941小間)が出展し、90,244人が来場した。2021年展は10月20日(水)～23日(土)に開催を予定する。

【株式会社ニュースダイジェスト社について】

創業：1964（昭和 39）年 3 月 設立：1968（昭和 43）年 5 月

代表者：代表取締役社長 樋口 八郎（ひぐち・はちろう）

資本金：2,000 万円

従業員：20 名

本社：〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3

ホームページ：<https://www.news-pub.co.jp>

概要：1964 年の創業以来、工作機械の専門誌《月刊生産財マーケティング》を中心に、FA 業界向けの図書を多数出版。2018 年には産業用ロボットに特化したウェブマガジン「robot digest」を創刊。

【愛知県機械工具商業協同組合について】

設立：1949（昭和 24）年

代表者：理事長 水谷 隆彦（みずたに・たかひこ＝ミズタニ機販株式会社 代表取締役社長）

組合員：228 社 賛助会員：106 社（2020 年 10 月現在）

所在地：〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町 16-8

ホームページ：<http://www.aikiko.or.jp>

概要：愛知県内に所在する機械工具（工作機械、産業用ロボット、自動化システム、周辺機器、工具、測定機器など）商社の協同組合。情報共有だけでなく、勉強会や若手経営者の育成と交流に力を入れる。

本件に関する問い合わせ先

株式会社ニュースダイジェスト社 ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 事務局 担当：平野、西塚

Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457

公式 Web サイト：<https://robot-technology.jp/2022>

e-mail：info@robot-technology.jp

以上